

「オリンピック記念資料室」 リーフレット2015

徳島県立穴吹高等学校には、平成22年2月完成の「オリンピック記念資料室」があります。この資料室には、先輩である9名のオリンピック代表選手の資料（ユニフォーム、色紙、写真等）が所蔵されており、本校のみならず本県の宝といえます。

平成26年度も有志の方から、アテネオリンピック2004マスコット、東京オリンピック1964スライドの寄贈等があり、展示内容が一段と充実しています。

私たち穴吹高等学校の生徒は、入学すると「オリンピック記念資料室」を見学し、高校生活をスタートさせています。偉大な先輩を意識しながら、穴吹高等学校での勉学に励んでいます。

平成27年度穴吹高等学校では、「オリンピック講座」を開催し、「東京オリンピック・パラリンピック2020年」に向けて学習を深める一方で、創立93年を迎えた穴吹高等学校の約60年にわたるオリンピック挑戦の長い歩みを探究しています。とりわけ、レスリング部は、7名のオリンピック代表選手を輩出していますが、最近でも東京国体2013での優勝をはじめ数多くの優秀な成績をおさめています。

徳島県立穴吹高等学校



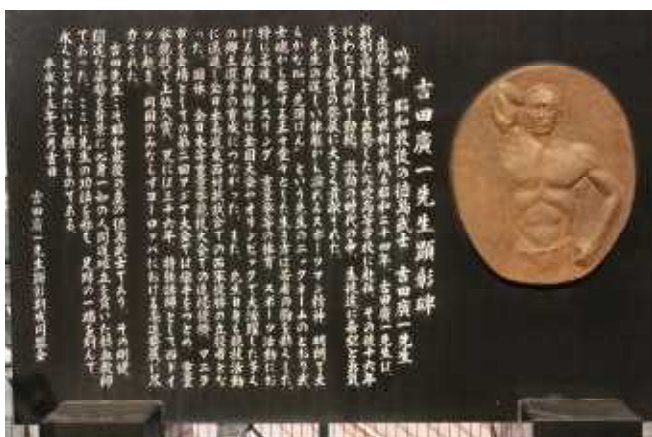
資料室の様子



資料室の様子

穴吹高等学校レスリング部の歴史は、吉田廣一（ひろいち）先生の赴任した1949（昭和24）年に遡ります。吉田廣一先生により、穴吹高等学校にレスリング部、重量挙げ部、男女柔道部が誕生しました。

吉田廣一先生は、1954（昭和29）年の第2回マニラアジア大会日本選手団旗手をつとめ、翌年日本スポーツ大賞を受賞されました。吉田廣一先生は、「先頭はん」の愛称で今も語り継がれています。このリーフレットでは、レジェンドとなった吉田廣一先生についてまとめてみました。



吉田廣一先生顕彰碑

オリンピック記念資料室所蔵の主な資料（敬称略）

西 暦	大会名	参加選手と資料
1960	ローマ大会	藤島善信（重量挙げ） 日本記録公認証 ユニフォーム 写真・パスポート
1964	東京大会	櫻間幸次（レスリング） ユニフォーム 宮中茶会（昭和39年1月5日） 藤田徳明（レスリング） 写真
1968	メキシコ大会	櫻間幸次（レスリング） オリンピックブレザー 藤本英男（レスリング） 銀メダル（レプリカ）
1972	ミュンヘン大会	藤本英男（レスリング） オリンピックブレザー パンツ・帽子・靴・ネクタイ
1976	モントリオール大会	高西一宏（レスリング） 旅行用ブレザー オリンピック認定証
1980	モスクワ大会	高西一宏（レスリング） 南 敏文（レスリング） 代表選手表彰
1984	ロサンゼルス大会	藤田芳弘（レスリング） オリンピックブレザー パンツ・帽子・ネクタイ
2004	アテネ大会	豊田雅俊（レスリング） 写真・マスコット 日本選手団記念品 柴田亜衣（水泳） 写真・新聞記事 日本選手団記念品
2008	北京大会	柴田亜衣（水泳） 写真

穴吹高等学校創立60周年記念室（本館4階）にもオリンピック資料を所蔵しています。

調べる・取材する

Q 吉田廣一先生のプロフィールを教えてください。

吉田有礼さん

父は、大正7年3月20日生まれで、日本体育会体操学校（現在の日本体育大学）の出身です。身長は184cmくらいありました。本来は柔道が専門で、国体の強化のため、穴吹高等学校レスリング部を創部したと聞いています。フィリピンのマニラで開催された第2回アジア大会では、重量挙げライトヘビー級で、5位入賞しました。

Q 吉田廣一先生について知っていることを教えてください。

藤島善信さん

吉田廣一先生がいなければ、今の自分はありません。吉田廣一先生は、長崎・平和公園の「平和祈念像」のモデルとされています。東京井の頭公園の彫刻家の北村西望先生のアトリエでデッサンが行われたことが有名です。世界的な平和祈念像のモデルとなったとされる吉田先生の筋肉は鍛錬に鍛錬を重ねた見事な筋肉といえます。

まとめる

Q 取材や顕彰碑から分かったこと

吉田廣一先生がいなければ、穴吹高等学校のオリンピック挑戦の歩みもなかったかもしれません。

穴吹高等学校レスリング部が全国の強豪であるのは過去の努力が今につながっているのではないかと思いました。まとめると次の5点です。

- ①吉田先生が熱血教師で人気があったこと
- ②吉田先生が西ドイツで柔道の指導をしたこと
- ③吉田先生が全日本柔道東西対抗試合で西軍優勝の立役者となったこと
- ④吉田先生をモデルにしたという長崎・平和公園の「平和祈念像」の原型が東京井の頭公園にあること
- ⑤長崎・平和公園の「平和祈念像」とスポーツマンの吉田先生がつながっていること

発表する

3年生 女子

昭和24年は、終戦4年後です。当時の日本は焼け野原が残り、日本人の心も敗戦を引きずっていたと思います。この時期、レスリング部や女子柔道部ができたことは、穴吹高校だけでなく、徳島・日本にとっての光となったと思います。櫻間選手や諸先輩方の活躍が今の伝統を築いており吉田先生の偉大さと新しさがよく分かりました。

3年生 女子

吉田先生の指導のもと、4名のオリンピック選手が誕生しました。藤島善信さん、櫻間幸次さん、藤田徳明さん、藤本英男さんです。藤本英男さんが藤本雅志先生を指導されたと聞き驚きました。伝統はこうして継承されていくのかと感じ、母校や先輩を誇りに感じました。

3年生 男子 レスリング部

今回の学習で、レスリング部のルーツやこれまでの歩みを整理することができました。伝統ある部の一員として、藤本雅志先生のご指導のもと全国制覇を目指す幸せをかみしめながら、今後も精一杯努力したいと思います。

3年生 女子

彫刻家の北村西望先生はどうやって吉田先生と出会ったのでしょうか。日本を代表する彫刻家のひとりである北村西望先生についても探究したいと思います。吉田先生は本校の誇りですが、東京井の頭公園のアトリエを訪ねる学習から「平和祈念像」のもつ意味を考えてみたいと思います。

「オリンピック記念資料室」は、一般公開をしており、平日の9:00から16:00の間、見学ができます。

歴史的にみても貴重な資料の数々を是非一度ご覧ください。事前にご連絡くだされば、教職員・生徒ナビゲーターがご案内します。お気軽にお電話ください。

電話 0883-52-2108

FAX 0883-53-9882

(平成27年度作成 無断転載を禁じます)